

第2回オスマン文書セミナーのご案内

東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所（AA研）では、中東・イスラーム研究教育プロジェクトの一環として、第2回オスマン文書セミナーを開催します。研究上オスマン朝下で作成されたさまざまな手書きの文書や帳簿を読む必要のある方を中心に、ひろくイスラーム史を研究される方のご参加をお待ちしております。ただしオスマン・トルコ語の授業を行う場では決してありませんのでご注意ください。また、本セミナーはNIHUプログラム・イスラーム地域研究東洋文庫拠点との共催となります。

昨年の第1回目に引き続き、今年度の第2回では、オスマン朝の文書の代表的な様式である勅令と、帳簿の一類型としてティマール授与に関わるルーズナムチェ台帳（**Timar Ruznamce Defterleri**）をとりあげます。前回と同様、古文書学・アーカイブズ学的観点から講義形式で説明を行なった後、事前にお配りしたコピーを用いて具体的な実例を演習形式で読解していきます。今回も、単に文書のテキストを読むというだけではなく、文書行政システムの手続きの中に正しく位置づけて理解することをめざしたいと思います。対象としては、主に16~18世紀のオスマン朝の行財政関係の文書・帳簿を扱います。

なおセミナーへの参加資格として、次の1.または2.のいずれかにあてはまることを条件とします。

- 1.「現代トルコ語の読解力があり、かつアラビア文字に関する知識を有する」
- 2.「ペルシア語あるいはアラビア語の読解力があり、かつ現代トルコ語文法の知識を有する」

参加を希望される方は、お名前、ご所属、連絡先住所・電話番号、メールアドレス、専門分野、セミナー参加可能日程を明記の上（部分参加も可）、下記の申込先まで11月20日(金)までにEメールにてご連絡ください。こちらから、セミナーで用いる資料を郵送いたします。なお参加費は無料です。

また、東京近郊以外に在住の方には、旅費の支出も検討しておりますので、希望される方はその旨お知らせください。

問合わせ・申込先：

東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所 フィールドサイエンス研究企画センター内 中東イスラーム研究教育プロジェクト事務局
e-mail : meis@aa.tufs.ac.jp (@は半角)

プログラム等の詳細は以下の通りです。

中東イスラーム研究教育プロジェクト第2回オスマン文書セミナー

◇主催：東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所

◇共催：NIHUプログラム・イスラーム地域研究東洋文庫拠点

◇期間：2009年12月20日(日)～21日(月)

◇会場：東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所

3階大会議室(303号室)

(〒183-8534 東京都府中市朝日町3-11-1)

http://www.tufs.ac.jp/common/is/university/access_map.html

http://www.aa.tufs.ac.jp/location_j.html

◇講師 高松洋一 (AA研)

齋藤久美子 (AA研ジュニア・フェロー)

◇プログラム

12月20日(日)

14:00-14:15 趣旨説明 講師紹介

14:20-16:00 勅令の構造とディーヴァーニー書体

16:20-18:00 勅令実例の講読1

12月21日(月)

10:30-12:10 勅令実例の講読2

13:00-14:40 ルーズナムチェ台帳について

15:00-16:40 ルーズナムチェ台帳の講読

17:00-18:00 総合討論